

草の根技術協力（支援型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	マラウイ共和国
2. 案件名	マラウイ共和国・マラウイ農村部における病院と学校が連携した地域住民の保健予防プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	実施団体は 2021～2024 年の 3 年間に渡り、「マラウイ農村部におけるサステナブルな衛生環境の向上支援事業」（フェーズ 1）を実施し、マラウイ北部のムジンバ県において南部病院及び 3 つのヘルスセンターを対象に、衛生環境の向上に関する事業を展開し、適切な医療廃棄物処理及び煮沸消毒の実施体制が整備された。しかし、医療従事者が慢性的に不足する同国では保健予防を徹底する人材が足りておらず、ヘルスセンターを訪れる患者への対処に留まっている。また、医療現場のみの衛生環境向上では継続的な効果は限定的であり、感染症に脆弱な子どもが密集する学校での衛生環境を整備する必要もある。長期的な健康改善には予防を見据えた衛生教育が必須であり、医療機関と学校が連携して衛生環境の改善と衛生・予防の知識を普及していくことが求められている。
4. プロジェクト目標	ムジンバ県全体への展開を見据え、ヘルスセンターと学校が連携した保健予防モデルを構築する
5. 対象地域	ムジンバ県 南部 4 地域（マニヤムラ、エディンゲニ、エンバングウェニ、ジェンダ）
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	【直接受益者】 1. ムジンバ県南部保健局の病院担当者 2 名、公衆衛生部局担当者 2 名 計 4 名 2. 対象 4 地域のヘルスセンターのメディカルアシスタント、看護師、医療アシスタント 合計 16 名 3. ムジンバ南部教育局のアシスタントコーディネーター 2 名 4. 対象 4 地域でヘルスセンターと連携する学校 4 校の保健担当教師を含む教師、校長 合計 16 名 【間接受益者】 5. 4 地域のヘルスプロモーター 計 4 名 6. 4 地域の住民 約 400 名 7. 4 地域の児童、生徒 約 3,200 名
7. 生み出すべきアウト プット及び活動	<アウトプット> 1. 本事業の活動計画と目標が関係機関全体に共有され、共通理解が構築される 2. 各地区のヘルスセンターと学校の連携体制が構築される 3. ヘルスセンターの衛生環境が向上し、住民への保健予防セミナーの実施体制が構築される 4. 学校の衛生環境が向上し、生徒への保健予防教育の実施体制が構築される 5. ムジンバ県全体に普及するための活動モデルが構築される <活動> 1-1 フェーズ 1 からの活動背景および本プロジェクトの概要・活動計画について、ムジンバ南地区の関連行政機関（保健局、教育局を含む）に説明し、協働体制を強化する 1-2 各機関からのコメントを収集・整理し、カウンターパート（C/P）と具体的な対応策を協議し、必要に応じて活動計画に反映する 1-3 C/P とともに、協働パートナーのヘルスセンター及び学校に対してフェーズ 1 の成果を共有し、各機関との協議の上で、ヘルスセンター、及び学校における本事業の担当者を選定する 1-4 協働パートナーのヘルスセンターと連携し、新たに活動対象とするジェンダ地域のヘルスセンター、及び学校に対して、フェーズ 1 の活動内容や成果、本事業の計画を説明し、本事業の担当者を選定する 1-5 C/P とともに、ヘルスセンターと学校が連携して活用する保健予防ガイドラインを作成する 1-6 保健局、教育局の職員を対象に、日本における病院・学校・地域連携による保健予防のアプローチへの実践的理解を深めるための本邦研修を実施する。 2-1 本邦研修参加者に対し、本邦研修を通じて得られた病院と学校の連携体制に関する知識・教訓を、C/P である保健局、教育局内の他の職員に対して共有するよう要請する。 2-2 協働パートナーの 3 地域のヘルスセンターと各 3 つの学校との間で、定期的な連携会議を設置する 2-3 協働パートナー地域において、ヘルスセンターと学校の相互訪問を促進し、実態把握と改善点の共有を行い、その結果を C/P と共有する 2-4 協働パートナーのヘルスセンターのスタッフを、新規追加したジェンダ地域のヘルスセンター、学校に派遣し、連携体制の構築および定期連携会議の設置を支援する 2-5 各 4 地域において、ヘルスセンタースタッフ、及び学校保健担当教員を対象として、保健予防ガイドラインに関する研修を実施する 2-6 4 地域の担当者を対象とした合同協議会を開催し、各地域の活動状況を C/P と共有する 3-1 協働パートナー地域のヘルスセンタースタッフが、新たに活動対象とするジェンダ地域のヘルスセンタースタッフに対して、衛生環境の改善に関する研修を実施できるように支援する 3-2 協働パートナー地域のヘルスセンタースタッフが、ジェンダ地域のヘルスセンタースタッフと連携し、ヘルスセンターの衛生環境の確認、改善を実施する 3-3 ヘルスセンタースタッフと連携し、地域住民向けの保健予防セミナーの計画を策定する 3-4 ヘルスセンタースタッフと連携し、地域住民を対象とした保健予防セミナーを実施する 3-5 セミナー内容の実施状況をモニタリングするために家庭訪問を行い、その結果および改善点を C/P と共有する 4-1 ヘルスセンタースタッフ、及び学校保健担当教員と連携し、他の教員に対する知識共有、および衛生環境の改善に関する技術指導を実施する 4-2 ヘルスセンタースタッフと協力し、学校内の衛生環境を改善する

	4-3 学校保健担当教師がヘルスセンタースタッフと連携し、生徒向けの衛生環境と保健予防に関するセミナーを計画する 4-4 学校保健担当教師がヘルスセンタースタッフと連携し、生徒に対してセミナーを実施する 4-5 教師、及び生徒の実践状況をモニタリングし、改善点を C/P と共有する 5-1 ムジンバ地区における本事業の成果を中央保健省および教育省と共有する 5-2 本プロジェクトの成果、及び県全体に普及させるための活動モデルを、ムジンバ県南部協議会（DEC ミーティング）にて共有する
8. 実施期間	（西暦）2026 年 8 月～2029 年 4 月（2 年 8 か月）
9. 事業費概算額	9,978 千円
10. 相手国側実施機関	中央保健省、中央教育省、ムジンバ県南部保健局、ムジンバ県南部教育局
II. 団体の概要	
1. 実施団体／指定団体	特定非営利活動法人Colorbath
2. 主な活動内容	主にマラウイ・ネパールにおいて、教育、農業、保健衛生、雇用創出にかかる事業を専門家とともに展開。日本国内では教育機関との連携による国際理解教育や Web 交流プログラムなどを実施。